

K-2: スキルプログラム専門委員会

開催日時・会場 9月4日(水曜日) 10:40-12:10 新C303(3階)

研究力分析入門—論文データと科研費データの分析

本セッションは、RA協議会スキルプログラム専門委員会が企画運営する教育セッションとして、研究力分析に関する基本的な考え方、分析の在り方について、研究力分析の初学者向けの講演を行います。

URAの業務分類においては、プレアワード、ポストアワードと並ぶ研究戦略推進支援業務の一つとして「研究力の調査分析」が位置づけられています。研究力の調査分析は、プレアワード、ポストアワード等のURA業務を戦略的に推進するための基盤となる情報を得る取り組みであり、重要な活動であると言えます。

本セッションが提供する研究力分析についての基本的な考え方、知識を身につけておくことは、研究力の調査分析を主たる業務とする方はもとより、それを主としないURAをはじめとする研究支援者にとっても有用なものになることが期待できます。

研究力分析においては様々な種類の情報について分析することを求められますが、本セッションの前半では、2つの研究活動に関する情報分析についての講演を行います。第1は論文数や被引用数といった書誌情報を元にした計量書誌学的アプローチによる研究力分析について、基本的な考え方とその注意点に焦点をあてた講演を行います。第2は多くのURAがその申請支援等を通じて業務上関与することが想定される、科学研究費助成事業(科研費)に関する分析についての講演を行います。また、セッション後半には質疑応答の時間を十分に用意しております。質疑応答を通じて、参加する皆様方の問題意識に沿って研究力の分析について議論を深めることを想定しております。

本セッションでは、参加いただく皆様方から積極的に質問が寄せられることを期待しています。

オーガナイザー

矢吹 命大: 横浜国立大学 研究推進機構

特任教員(准教授)/リサーチ・アドミニストレーター



筑波大学大学院人文社会科学部国際政治経済学専攻単位取得退学。修士(国際政治経済学)。2012年4月より筑波大学大学院人文社会系特任研究員として巨大科学を巡る国際関係の研究に従事。2014年4月横浜国立大学特任教員(講師)・URA。2017年7月より現職。専門は国際関係論。URAとしては科学技術政策動向調査、研究IR、競争的資金獲得支援、サイエンスカフェ支援、競争的資金DB開発などを担当。

講演者

清家 弘史: 京都大学 産官学連携本部 社会連携部門 特任准教授

東京大学理学部化学科卒業。The Scripps Research Institute, Graduate Program in Chemistry 修了 (Ph.D.)。英国王立化学会日本事務所、東北大学URAセンターを経て、2019年4月より現職。科学、出版、国際関係分野における経験を活かしたデータ分析を行い、得られた知見に基づく戦略やプロジェクトの立案・運営を得意とする。

丸山 浩平: 早稲田大学 リサーチイノベーションセンター 研究戦略部門 教授



博士(工学)(東京農工大学)。JUKI(株)にて産業用機械のR&D、全社の技術戦略、新規事業開発等を担当した後、早稲田大学でバイオセンシング研究に従事。2009年から同大学研究戦略センターの立上げに参画し、その後も、東京農工大学と早稲田大学において全学的な研究力強化などURA活動に従事。JST研究開発戦略センター・フェローも兼務。専門は技術戦略企画、計測学など。